

令和3年 年末訓示

今年の仕事納めは、明日であります。働き方改革の一環もあり、出来るだけ皆さんに休んでいただけるよう、本日、年末の訓示を行います。

改めて、この一年間、職員の皆さん、大変ご苦勞様でございました。

今年も、「新型コロナウイルス感染症」への対応が続き、大変お疲れ様でした。特に、第5波の時には、本村でも陽性者数が連日二桁となるなど、一時は緊張感も高まりましたが、幸いにして、クラスター等の発生もなく乗り切ることができました。今は、周辺地域も含めて落ち着いた状況になっており安堵しているところです。オミクロン株の拡がりも懸念される中であり、油断は出来ませんが、まずは、皆さんの頑張りに、改めて感謝したいと思います。

コロナ禍は、約2年近く続いており、今年8月には、全国で一日あたり2万5千人を超える感染者数を記録するなど、医療提供体制もギリギリのところまで追い詰められ、社会全体に明るい兆しが見えないような時期も経験しました。そうした中で、村としましては、ワクチン接種を着実に実施することに専念してまいりました。

健康増進課においては、村民の関心が高まる中で、村民への情報提供や各種の問い合わせ対応など、休む暇のない厳しい毎日であったと思います。本当にご苦勞様でした。お陰様で、先週末時点でのワクチン接種率は、91%に達しております。年明けには、3回目接種が控えていますが、引き続き、頑張ってまいりましょう。

また、産業政策課においては、「I～MOの割引キャンペーン」や「キャッシュレス決済ポイント還元事業」など立て続けに事業者支援に奔走していただき、大変ご苦勞様でした。多くの事業者から感謝の言葉を受けています。特に、キャッシュレス決済ポイント還元事業は、単純計算で約2億7千万円の消費活性化の効果をもたらしていますので、皆さんの頑張りは誇らしいものであると思っています。来年も、村内消費を喚起し、地元の事業活動を支援してまいりたいと思いますので、引き続き、よろしくお願ひします。

その他の役場の仕事について、いくつか取り上げてみたいと思います。

子育て支援課においては、公立幼稚園の統廃合問題で、保護者等への意見交換会や説明会などしっかりと説明責任を果たしていただき、大変ご苦勞様でした。一部では、反対の署名活動も展開されましたが、粘り強く真摯に対応した結果、大きな混乱を引き起こすことなく、前へ進めることができました。今後は、再編に向けて、村松幼稚園の充実を図ってまいりましょう。

そして、今年最大のトピックスは、「歴史と未来の交流館」のオープンだと思います。生涯学習課の皆さん、よく頑張ってくれました。ご苦労さまでした。基本構想から数えると、約9年の歳月をかけて、議会をはじめ村民の皆様にご理解頂きながら丁寧に整備を進めてまいりましたので、開館を迎えることができ、私自身も、とっっても感慨深いものがありました。開館後、順調に来場者を伸ばしていたところで、コロナ禍により休館を余儀なくされた時期もありましたが、今後さらに多くの村民の皆様楽しんでいただけるよう工夫してまいりましょう。

また、「人づくり」では、つながるTOKAIプロジェクトが動き出し、その成果の一つとして「L i e n (リアン)」というコミュニティスペースも誕生しました。こうした動きは、これまでにない展開であり、今後のT-プロの更なる活性化に期待しているところです。

デジタル化では、日立システムズとの共同研究により、一部の課においてBPRに取り組んでもらいました。ICTの活用で仕事が変わるのではなく、仕事の見える化を行うことで、業務改善や住民サービスの向上に繋がるということを忘れず、来年以降も積極的に取り組んでいただきたいと思います。

これらは、プロジェクト推進室の皆さんの成果だと思いますが、役場の内外から注目されていますので、来年以降もさらに頑張ってみましょう。

そして、IFとの40周年記念式典も、コロナ禍により、オンライン開催となってしまいましたが、40年間の交流を振り返ることができました、画面越しの旧友との再会は、嬉しさ半分やるせなさ半分といった感じでしたが、早くお互いが行き来する交流を再開したいとの想いがつのりました。コロナ禍の心配はありますが、秘書広報課の皆さんには、来年に向けてしっかりと準備を進めてもらいたいと思います。

また、選挙も多い年でした。選挙管理事務は全庁対応で行っていただきましたが、知事選挙、村長選挙、衆議院選挙と続きながらも、職員一丸となって、ミスもなく無事職務を果たすことができましたと思います。総務課の皆さんをはじめ、全職員の皆さん、本当にご苦労様でした。

最後に、原子力政策においても触れておきたいと思います。東海第二発電所については、安全性向上対策工事が進められており、その進捗状況は、今後とも注視していかなければなりません。一方で、今年もコロナ禍により、避難訓練は実施出来ませんでした。来年以降は、時機を見て訓練を実施しながら必要な検証を進めてまいりたいと考えています。引き続き、しっかりと対応してまいりましょう。また、原発を自分のこととして考える「自分ごと化会議」は約1年をかけて5回開催し、先日終了しました。参加者が率直に意見交換し、冷静に話し合える場が作れたということは、素晴らしい成果であったと思います。初めての取り組みで防災原子力安全課も苦労したことと思いますが、お疲れ様でした。さらに、

次の展開も考えてまいりますので、引き続き、頑張ってください。

このほかにも、「マイナンバーカードの普及促進」「地域包括支援センターの民間委託への準備」「区画整理事業の推進」「多面的機能支払交付金を活用した地域活動の推進」「G I G Aスクールの推進」「本村初のスポーツフェスタの開催」など、各課で取り組んでもらった仕事は多数あります。一つひとつお話することはできませんが、全体としては、コロナ禍においても、ある程度、事業を推進できたのではないかと感じております。大変ご苦労様でした。

今年の年末年始の休みは6日間ですが、有給休暇も上手に使いながら、しっかりとリフレッシュしてください。特に、家族との時間を大切にしてください。

結びに、今年一年の皆さんの働きに改めて感謝申し上げますとともに、年明けには、皆さんが元気に顔を揃えていただけるよう祈念しております。

皆さん、良い年をお迎えください。